

フードバンクTAMAシンポジウム  
令和元年5月18日(土)

# ひとり親家庭をめぐる現状と課題

## －すべての子どもに安心と希望を！－



立川市ひとり親家庭福祉会 立川みらい

会長 篠原 輝 美

✉ [tachikawamirai4188@gmail.com](mailto:tachikawamirai4188@gmail.com)

# 障害ある4歳、衰弱死か母病死後、食事の跡なし

東京都立川市羽衣町一丁目のマンション室内で、この部屋に住む母親（45）と知的障害のある息子（4）とみられる2人の遺体が13日に見つかったことが、立川署への取材で22日わかった。いずれも死後1〜2カ月が経過していたという。同署は女性が先に病死し、男児は食事ができずに衰弱死したとみて調べている。

同署によると、司法解剖の結果、女性の死因はくも膜下出血で、男児は栄養不足状態だったとみられる。1DKの室内で女性は床に倒れ、男児はそばのソファで死亡していた。男児の体重は9キロで4歳平均の半分ほど。テーブルに弁当が置いてあり、冷蔵庫に食料が残っていたが、胃の中に食べ物はほとんどなかった。

この部屋は母子2人暮らし。息子は一人で歩けるが、言葉をしゃべることができず、自分で食事をとれなかったとみられる。親族から「長い間連絡が取れない」と通報を受け、立川署員が遺体を見つけた。



# ひとり親と子どもがどのくらいいるのか



## 世帯構造別・世帯類型別にみた世帯数及び平均世帯人員の年次推移

年次	推計世帯数 (単位：千世帯)											平均世帯人員 (単位：人)
	総数	世帯構造						世帯類型				
		単独世帯	夫婦のみ の世帯	夫婦と未 婚の子の みの世帯	ひとり親 と未婚の 子のみの 世帯	三世帯 の世帯	その他 の世帯	高齢者 世帯	母子 世帯	父子 世帯	その他 の世帯	
1986 (S61)	37,544	6,826	5,401	15,525	1,908	5,757	2,127	2,362	600	115	34,468	3.22
1989 (H01)	39,417	7,866	6,322	15,478	1,985	5,599	2,166	3,057	554	100	35,707	3.10
1992 (H04)	41,210	8,974	7,071	15,247	1,998	5,390	2,529	3,688	480	86	36,957	2.99
1995 (H07)	40,770	9,213	7,488	14,398	2,112	5,082	2,478	4,390	483	84	35,812	2.91
1998 (H10)	44,496	10,627	8,781	14,951	2,364	5,125	2,648	5,614	502	78	38,302	2.81
2001 (H13)	45,664	11,017	9,403	14,872	2,618	4,844	2,909	6,654	587	80	38,343	2.75
2004 (H16)	46,811	11,411	9,711	15,125	2,774	4,512	2,934	7,874	627	90	37,732	2.72
2007 (H19)	47,961	11,806	10,011	15,015	3,006	4,045	3,337	9,009	717	100	38,197	2.63
2010 (H22)	49,111	12,201	10,306	14,922	3,180	3,835	3,320	10,207	708	77	37,646	2.59
2013 (H25)	50,261	12,601	10,601	14,899	3,621	3,329	3,334	11,614	821	91	37,586	2.51
2016 (H28)	51,411	13,001	10,901	14,744	3,640	2,947	3,330	13,271	712	91	35,871	2.47

子育て世帯の  
約5分の1が  
ひとり親家庭

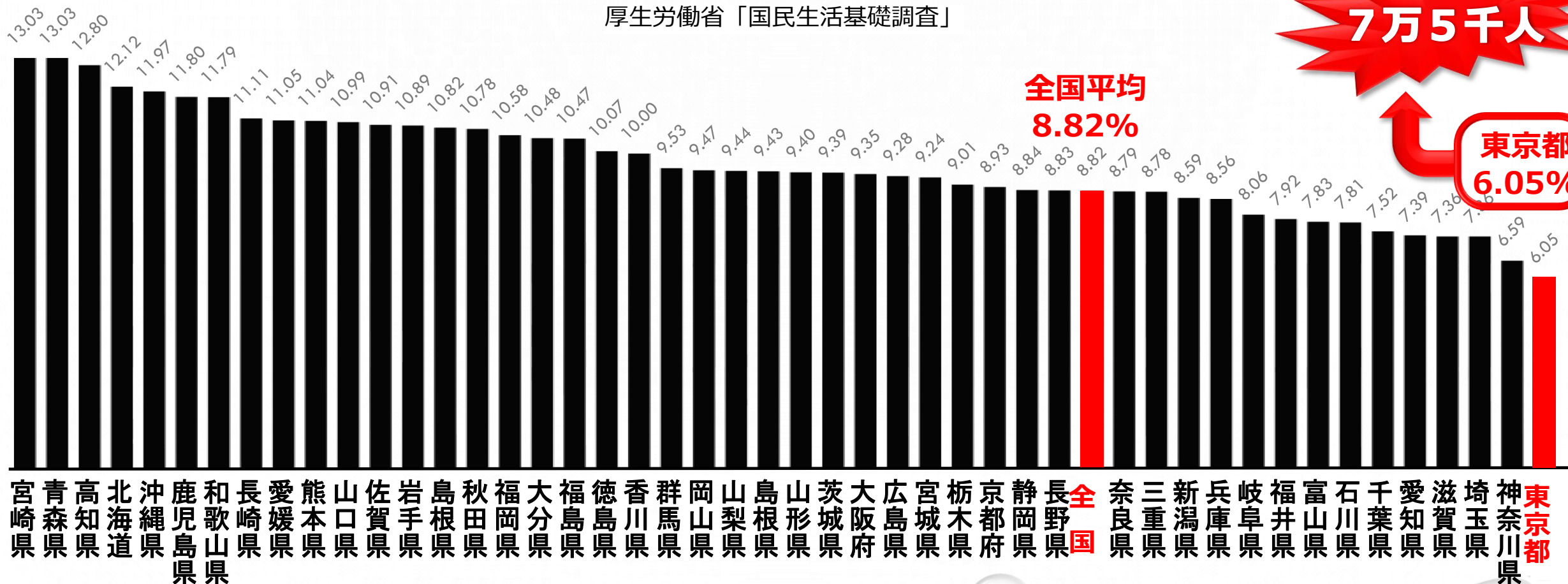
厚生労働省「国民生活基礎調査」 平成7年の数値は兵庫県を除く。平成28年の数値は熊本県を除く。

# ひとり親と子どもがどのくらいいるのか



## 都道府県別ひとり親世帯の子どもの出現率

厚生労働省「国民生活基礎調査」



7万5千人

東京都  
6.05%



## ● 離婚の背景

- ☞ 拘束・D V、不倫・浮気、ギャンブル・借金
- ☞ 若年層の婚姻の破綻
- ☞ コミュニケーション力の低下、性格の不一致 など

## ● ひとり親家庭の課題

- ☞ 経済的な厳しさ      それをもたらす影響（親・子）  
それを生み出す社会構造

# ひとり親家庭の現状

厚生労働省「平成28年度全国ひとり親世帯等調査」



	母子世帯	父子世帯
1 世帯数（推計値）	123.2万世帯	18.7万世帯
2 ひとり親世帯になった理由	離婚 79.5% 未婚 8.7% 死別 8.0%	離婚 75.6% 死別 19.0%
3 就業状況	81.8%	85.4%
うち、正規職員・従業員	44.2%	68.2%
うち、自営業	3.4%	18.2%
うち、パート・アルバイト等	43.8%	6.4%
4 平均年間収入（母または父自身の収入）	243万円	420万円
5 平均年間就労収入（母または父自身の就労収入）	200万円	398万円
6 平均年間収入（同居親族を含む世帯全員の収入）	348万円	573万円

# ひとり親家庭の課題



## 所得の種類別一世帯当たり平均所得金額

(単位：万円)

所得格差の解消が  
求められている！

	総所得	稼働所得	公的年金・恩給	年金以外の社会保険給付金	仕送り・企業年金・個人年金・その他の所得	世帯人員一人あたりの平均所得金額
母子世帯	290.5	219.9	17.7	38.8	8.4	112.2
児童のいる世帯	739.8	687.0	22.8	18.2	5.1	182.4
全世帯	560.2	423.7	104.0	6.8	12.7	219.5
高齢者世帯	318.6	70.9	211.2	2.5	17.2	200.6

# 家計からみた所得再分配（月額平均）

総務省統計局平成26年度全国消費実態調査



	母子世帯		18歳未満の子どもがいる世帯	
<b>A 当初所得 ①+②+③</b>	<b>215,458円</b>	<b>100.0%</b>	<b>486,095円</b>	<b>100.0%</b>
① 勤め先収入	181,869円	84.4%	449,507円	92.5%
② その他の収入	10,981円	5.1%	14,995円	3.1%
③ 社会保障給付金	22,608円	10.5%	21,593円	4.4%
<b>B 非消費支出 ③+④</b>	<b>25,938円</b>	<b>12.0%</b>	<b>86,997円</b>	<b>17.9%</b>
③ 直接税	6,124円	<b>2.8%</b>	34,917円	<b>7.2%</b>
④ 社会保険料(健保・年金等)	19,666円	<b>9.1%</b>	51,993円	<b>10.7%</b>
<b>C 可処分所得 A-B</b>	<b>189,520円</b>		<b>399,098円</b>	
<b>D 消費支出</b>	<b>190,464円</b>		<b>297,206円</b>	
<b>実計収支 C-D</b>	<b>-944円</b>	<b>生活赤字</b>	<b>101,892円</b>	<b>生活余裕</b>



# ひとり親家庭支援の重要性



## 子どもを育てている「ひとり親」の生きづらさ・経済的貧困

- ➡ 未だにひとり親と言うと世間の偏見があちらこちらに根深く残る
- ➡ 所得税と異なり、社会保険料は収入に関わらず負担(減免にならず)
- ➡ 正規勤務していれば、年次休暇・子育て支援休暇等の福利厚生之恩恵
- ➡ 子育てと仕事の両立の困難 ⇒ パートタイムになりがち、低所得に
- ➡ 学校(園)からの引き取り連絡等 ⇒ 仕事に影響(減給・解雇にも?)
- ➡ 保育等の受入れ事情や高額な学校・塾事情 ⇒ 子どもの将来性は?
- ➡ 行政は現金給付よりもサービス給付に重点 ⇒ 貧困解消になるの!?
- ➡ 子育ての悩み等を相談する友だちがない、相談の時間がない

# 最大の支援～安心・安全に暮らすこと



同じ境遇を分かち合える仲間とつながりたい

安定した仕事に安定した収入を得たい

子どもを安心安全な場所で保育を受けさせたい

人並みな教育を子どもに受けさせたい

でも実際は・・・

納得してはいる、一人で何でもこなさなくてはならないこと

子どもの年齢問わず 1日24時間では足りないほどの忙しさ

疲弊すればするほど孤独感・孤立感に苛まれる



# ひとり親家庭に必要な支援

2016年JILPIT(労働政策研究・研修機構)子育て世帯全国調査

## ■食料の不足を感じている世帯の割合

ひとり親世帯 16.1% 相対的貧困率 50.8%

ふたり親世帯 6.2% 相対的貧困率 10.7%

## ■シングルマザーの就業率 87.2% (OECD 65%) 平均年収 220万円

## ■望む公的支援

①金銭的支援

②保育サービス

③休業・休暇の期間延長 となっているけれど…

**日本のシングルマザーの就労率は世界的には一番高いが一番貧困。子どもとふれあう時間は一日あたりの平均時間たったの23分！**

# 立川市ひとり親家庭福祉会 立川みらい

- 設 立 1959(昭和34)年4月1日 (本年60周年)
- 事 務 局 立川市子ども未来センター 協働事務室内
- 会 員 数 約90世帯 (立川市とその周辺地域在住)
- 年 会 費 一世帯あたり1,200円
- 協力団体 NPO法人キャリアアシスタント  
立川市社会福祉協議会  
立川市子ども家庭支援センター  
フードバンクTAMA  
国際ソロプチミスト立川 ほか



行事のときはこの旗が目印

## 1 会の目的

本会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる、地域福祉の充実を推進するとともに、ひとり親家庭の自立精神の確立を図り、相互扶助と協働福祉の推進に努め、健全な家庭生活をもたらすなど、自立支援を目的として活動する。

## 2 活動目標

- ① 多くのひとり親家庭に呼びかけ、本会に参加してもらうことにより、組織の活性化を図る。また、将来にわたって継承されていくための組織づくりをしていく。
- ② 他のひとり親家庭福祉会等の団体と連携を図り、活動を推進していく。
- ③ 各種啓発活動、教室等に事業を実施することにより、楽しみながら会員の意識の向上、心身の健康維持・促進を図っていく。
- ④ ニュースレター、インターネットやSNS等を活用して、会の活動を広報宣伝するとともに、会員の増加を図っていく。
- ⑤ 本会は本年度で設立60周年を迎える。そこで、記念事業を計画し実施する。

# 今年度の主な事業・行事

実施日	事業名	場所	活動内容
毎月 第3土曜	おしゃべりカフェ ひとり親相談の日	立川市子ども未来センター 1階グループ活動室	ひとり親の子育ての悩みなどの情報交換
毎週土曜	みらい塾	立川市子ども未来センター たましんRISURUホール他	協力：NPO法人キャリアアシスタント ひとり親家庭の子どもたちの学習支援
4月29日	定期総会& BBQ親睦交流	国営昭和記念公園 バーベキューガーデン	前年度事業報告・新年度事業計画など
6月16日 ・22日	たちかわ男女平等 フォーラム	立川市女性総合センター 1階ホール・5階学習室	歌とお話・バイオリンのファミリーコンサート ひとり親講座「心とお金のお話」
8月10日 ～11日	夏の親子一泊研修	神奈川県藤野芸術の家	川遊び・BBQ交流・懇親会・工房体験等
11月2日 ～3日	たちかわ楽市出店	国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーン	おしるご等の物販・会のPR
12月15日	クリスマス会	立川市女性総合センター 5階料理実習室 他	親子クッキング・クリスマス会



# おしゃべりカフェ



## 誰もが集える安心の場所

子ども家庭支援センター主催 立川みらい運営

○毎月第3土曜午後 立川市子ども未来センターにて

○予約不要 参加費100円（お茶菓子代）

○子ども家庭支援センター職員が見守り保育

○離婚後の生活や子育て相談などのフリートーク

ひとり親のコミュニティスペースに

# みらい塾



**経済的に厳しいけれど子どもたちの学力をあげたい  
NPO法人キャリアアシスタントの協力で学習支援を実現**

- 毎週土曜夜 子ども未来センター、市民会館等にて
- ひとり親の児童(小4～高3) **非会員可** 現在40名ぐらい
- 大学生から社会人まで幅広いボランティアによる講師陣
- 児童2名に対し講師1名を基本(不登校児童は1対1)
- 月額2,000円(講師の交通費)
- 年2回程度の塾ごはん提供、クリスマス会・保護者会開催



# フードバンクさん ありがとうございます！



フードバンクからの支援箱を「宝箱」という子ども

- 普段おやつをなかなか買ってあげられていないけど、支援をいただいているとき、本当に親子で楽しいおやつタイムを過ごすことができました。
- いつもお金がない、お金が無いからダメだ！…そんなことばかりだった。でも、いただいたお米や調味料などのおかげで、浮いたお金を他の食材などの購入に回すことが出来ました。
- 箱が届くたびに、誰かが応援してくれているような気持ちになり、また明日も頑張ろうと思いました。

皆様の思いやりが、必要なところに必要な支援を届けてくださいます。本当にありがとうございます。



ご清聴ありがとうございました

